

令和7年度事業報告書

埼玉県NPO基金ニュース

SDGsの視点を持ち、地域の課題に取り組むNPOを応援



埼玉県マスコット
コバトン&さいたまっち

お問い合わせ先

埼玉県県民生活部 共助社会づくり課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

TEL 048(830)2828 FAX 048(830)4751

E-mail a2835-03@pref.saitama.lg.jp



彩の国  埼玉県

令和7年度 埼玉県NPO基金寄附者のご紹介

感謝状の贈呈式 ※贈呈日順・敬称略

◆JSA中核会埼玉ブロック



◆明治安田生命保険相互会社



◆国際ロータリー第2570地区 ◆株式会社富士薬品



◆株式会社ソニックフロー



◆埼玉県浦和競馬組合



◆株式会社小山本家酒造



◆一般財団法人 さいたま住宅検査センター



令和7年度 寄附合計額

11,536,879円

令和7年度寄附者一覧

※ 希望者のみ掲載
※ 五十音順・敬称略

企業・団体の皆様

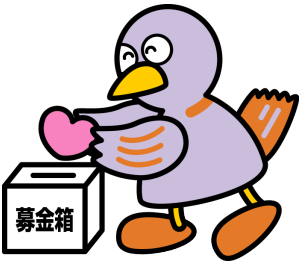
- | | |
|---------------------|-------------------|
| 一般社団法人埼玉県医師会 | 埼玉県遊技業協同組合 |
| 一般社団法人埼玉県歯科医師会 | 嵯峨野株式会社 |
| 一般社団法人日本ショーファー協会 | 第一生命保険株式会社埼玉中央支社 |
| 大蔵屋商事株式会社 | 東京麒麟ビバレッジサービス株式会社 |
| 株式会社東和プロセス | ネットヨタ東埼玉株式会社 |
| 公益社団法人全日本不動産協会埼玉県本部 | リコージャパン株式会社埼玉支社 |

個人の皆様

故齊藤遼子様遺言執行者弁護士長田知恵

コバトンリサイクル募金にご参加いただいた皆様

ご協力ありがとうございました



県民の皆様には、日頃、共助社会づくりの推進に御理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

本県では、埼玉県NPO基金を平成16年度に設置して以来、NPOの自発的・継続的な活動を支援するため、皆様からの御協力によりNPOの助成事業を実施してまいりました。令和7年度は34件の御寄附をいただきました。寄附者の皆様に深く感謝いたします。

本県は今、「人口減少・超少子高齢社会の到来」と「激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応」という時代の転換期における二つの歴史的な課題に直面しています。

また、社会の在り方が変化し、多種多様な価値観が広がっています。

こうした中、保健・医療・福祉の増進やまちづくり、環境保全など地域課題の解決に取り組むNPOの活動は、あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に、必要不可欠なものです。

この令和7年度事業報告書「埼玉県NPO基金ニュース」は同基金を活用して実施した活動の成果をまとめたものです。

この報告書を通じて、NPOの活動に関心を持ち、趣旨に御賛同いただければ幸いです。

今後ともNPOの活動がますます活発になるよう、皆様の一層の御支援と御協力を心からお願い申し上げます。



埼玉県知事 大野元裕

令和7年度 埼玉県NPO基金助成事業のご紹介

NPO基金を活用し、令和7年度は合計15のNPO法人に助成しました。

SDGs推進事業

NPOならではの視点を持ちながらSDGsを推進し、地域課題の解決に取り組む活動に対して助成

法人名	採択事業名【応援名称】	分野
特定非営利活動法人 Special Discovery Supporters	家庭・学校・地域の連携で育む地域づくり事業～共育社会の構築に向けて～	人間
NPO法人 みんなの学び舎びなす	不登校児童生徒のための自立支援事業	人間
NPO法人Re-each	自閉スペクトラム症(ASD)の子供達の事を本質的に理解する講演・講習事業 【明治安田「地元の応援募金」】	人間
NPO法人 子ども地域ネットワーク所沢	所沢SecretBase(学生活動支援)	人間
特定非営利活動法人 百年の森づくりの会	水を育む山への恩返し 荒川源流域での森づくりと子供の森林体験 【金紋世界鷹 みどりと川の再生支援寄附】	地球
特定非営利活動法人 アシストさいたま	すべての子に学べる環境を！ 【埼玉県浦和競馬組合 社会貢献活動】	人間
特定非営利活動法人 熊谷市ほたるを保護する会(認定・指定)	「ホタル保護活動を通して陸の豊かさを作る」 親子里山体験と環境保全整備 【金紋世界鷹 みどりと川の再生支援寄附】	地球
特定非営利活動法人 くまがやおもちゃ病院	「こわれたおもちゃ、いっしょになおそう。めざせ！未来のエジソン」 【株式会社富士薬品】	地球
特定非営利活動法人 チーム東松山	能登半島地震・豪雨災害復興支援プロジェクト 【JSA中核会埼玉ブロック】	豊かさ
特定非営利活動法人 彩の国キッズ＆ファミリー 車いすスポーツ協会	車いすバスケットボール体験事業 【明治安田「地元の応援募金」】	人間
特定非営利活動法人 リバリュアライフ	対等・水平な関係での対話を通じてつながる声・ひろがる未来 【埼玉県浦和競馬組合 社会貢献活動】	豊かさ
特定非営利活動法人 ウィズ・ザ・スモール	難民申請者等、マイノリティの方のくらしの支援と理解促進事業	パートナーシップ
特定非営利活動法人 マナビダネ	子どもの学びを「LINEと動画」で伝える地域広報プロジェクト	人間
自立促進事業	SDGs推進事業のうち、事業収入による運営へ再構築することで体制強化を図る新たな事業に対して助成	
法人名	採択事業名【応援名称】	分野
特定非営利活動法人 あいアイ(認定)	障害者の描いた絵画作品を使った持続的な自立支援活動 【株式会社ソニックフロー】	豊かさ
特定非営利活動法人 霜里学校	関係人口創出に向けた企業連携地域課題解決 -小川町ジャック in 川越- 【一般財団法人さいたま住宅検査センター 住まい・まちづくり支援寄附】	豊かさ

※「応援」とは、一定額以上の寄附をした個人・団体が企業名・プロジェクト名等を明示しNPO活動を応援するものです。

SDGs推進事業・人間分野

事業名 ▶ 家庭・学校・地域の連携で育む地域づくり事業
～共育社会の構築に向けて～

法人名 ▶ 特定非営利活動法人Special Discovery Supporters



活動内容

NPO法人Special Discovery Supporters は、様々な理由で学校に行くことが難しい支援が必要な子どもたちを対象に、フリースクール運営を通じた学習・生活・交流支援を行っています。一人ひとりの学習ベースに寄り添いながら、安心して学べる居場所づくりを大切に、家庭・学校・地域の連携による共育社会の構築を目指して活動しています。

事業取組

本助成金事業では、3つの事業に取り組みました。事業1は「フリースクール運営事業」で、学習支援に加え、AI起業やマネー講座などの実践的な「生き方講座」、地域高齢者とのスマートフォンサポートを通じた「スマホっとサロン」を実施し、世代間交流と相互学習の場を創出しました。事業2は「研修・講演会事業」で、教育専門家・数下遊氏による「共育社会の構築」をテーマとした講演会を開催し、約50名が参加しました。事業3は「すくすくファーム事業」で、種まきから収穫、調理までの一連の農業体験を提供し、地域農家との連携による地域交流を推進しました。

事業成果

本事業を通じて、社会福祉協議会をはじめ、高齢・障害・児童福祉の各分野を巻き込んだネットワークづくりが大きく前進しました。これまで個別に活動していた団体や機関が顔の見える関係を築き、協力し合える体制が整いつつあります。今後も、この地域連携の基盤を活かし、子どもたちが安心して育ち、学べる共育社会の実現に向けて、専門性を活かした支援を継続してまいります。

総事業費

1,577,702 円

助成額

500,000 円

SDGs推進事業・人間分野

事業名 ▶ 不登校児童生徒のための自立支援事業

法人名 ▶ NPO法人みんなの学び舎びなす



活動内容

不登校児童生徒が社会とつながりながら自立するための支援を行うことを目的に活動しています。元教員や心理カウンセラー等のスタッフが子供たちに寄り合い、要望や進度に合わせた学習や活動を支援しています。

事業取組

18名の通所者を受け入れ、一人一人に合った学習を進めたり、果樹園や田畑で様々なものを育てて収穫しています。また、生涯学習支援として様々なイベントを計画して子供たちに体験させています。今年度はシンガーソングライターを招いての七夕コンサート、炊き出し体験としての飯ごう炊さんとカレー作り、かんなくずを使ったクリスマスリース作り、ミニ門松づくりを行いました。

事業成果

入所時は保護者から離れられなかった子も、スタッフと活動しながらコミュニケーションがとれるようになってきています。今後も、学校や保護者との連携を密にして、その子に合った効果的な支援ができるようにしていきたいと思ひます。

総事業費

702,129 円

助成額

500,000 円



SDGs推進事業・人間分野

応援：明治安田「地元の応援募金」

事業名 ▶ 自閉スペクトラム症(ASD)の子供達の事を本質的に理解する講演・講習事業

法人名 ▶ NPO法人Re-each



活動内容

「発達障害」の理解を最大のテーマとして活動をしています。普段は主に、自閉スペクトラム症(ASD)という障害の当事者の声を保護者・支援者に届けてより良い支援に繋げてもらう活動を行っています。

事業取組

今回の補助金事業では、「①自閉スペクトラム症(ASD)の子供達の事を本質的に理解する講演」、「②自閉スペクトラム症(ASD)の子どもたちの理解を深める講演会」の2つを実施しました。どちらも同じASDというコミュニケーションや社会性に課題を抱える障害を扱い、保護者・支援者の方々に対して、同じ障害を抱える「当事者のリアルな声」を届け、理解を深め、支援に生かしていただく事を目的として行いました。

事業成果

どちらも終了後のアンケートで非常に高い評価をいただきました。講習終了後には、施設職員の方々から子どもの支援方法についてご意見やご助言をいただいています。今後はオンラインも使い、活動を広く行う予定です。

総事業費

367,508 円

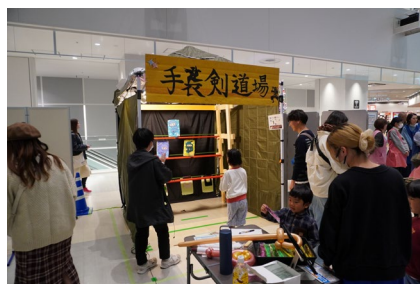
助成額

367,000 円

SDGs推進事業・人間分野

事業名 ▶ 所沢SecretBase(学生活動支援)

法人名 ▶ NPO法人子ども地域ネットワーク所沢



活動内容

学生の活動支援を通じ、地域との繋がりや社会経験の場を創出しています。不登校や引きこもりの方が安心して参加できる居場所作りを大切にしており、企画運営から当日のスタッフまで、各自のペースで参加できます。

事業取組

不登校の児童生徒や学生が主役となる体験事業を実施しました。7月のキャンプでは学生主体で運営し、自炊やレクを通じ協力体制を築きました。8月はピエロ鑑賞等に延べ600名、9月の祭りは手裏剣道場等の出店で地域と交流をし、11月はイタリアの高校生を招き、うどん作り等の日本文化を通じた国際交流を行いました。これらの活動を通じ、不登校生徒も店員として活躍できる機会や多様な学びの場を提供できました。

事業成果

分野を超えた支援のハブとしての強みが確立されました。今後はこの繋がりを活かし、不登校の方への学習・食事支援や、地域の専門家を招いた芸術体験など、より幅広いジャンルで孤立を防ぐ環境作りを推進します。

総事業費

704,621 円

助成額

500,000 円

SDGs推進事業・地球分野

応援：金紋世界鷹 みどりと川の再生支援寄附

事業名 ▶ 水を育む山への恩返し 荒川源流域での森づくりと子供の森林体験

法人名 ▶ 特定非営利活動法人百年の森づくりの会



活動内容

「水を育む山への恩返し」をコンセプトに、秩父中心に苗を植え、育ちを見守り、森の動物を観察し子供達に森の恵みを伝えようと森林体験会を開催し、森・河・秩父を知らせようと講演会等を開催しています。

事業取組

埼玉県の最南部、和名倉山仁田小屋尾根(標高1,000~2,000m)に1回/月程度通い動物の動画データを回収しました。
長瀨宝登山では、親しみやすい森づくりを目指し、下草刈りや補植の準備作業を行いました。旧大滝小学校三峰分校では他の子供支援組織と協働し、様々な環境の子ども達に宿泊型森林体験会(三峰森の集い)を3回実施し、スタッフを含め77名が参加しました。三峰森の集い等の活動を写真を多く含む広報誌にまとめ、多くの組織や団体に配布しました。

事業成果

和名倉山の動物動画は当会のHPで公開、今後も動植物を含む森林生態系を観察していきます。
宝登山では植林地をめぐるハイキング道路の整備も進めていきます。
様々な子ども達に三峰森の集いを提供し、体験格差の解消にも貢献していきます。

総事業費

556,739 円

助成額

500,000 円

SDGs推進事業・人間分野

応援：埼玉県浦和競馬組合 社会貢献活動

事業名 ▶ すべての子に学べる環境を！

法人名 ▶ 特定非営利活動法人アシストさいたま



活動内容

子どもの健全育成のための活動(英語教室)に加え、子供の居場所づくり、学習補助、地域社会の健康推進事業(高齢者に対する体操教室の実施)を行っております。子どもの健全育成のための活動である英語教室においては、ハロウィンなどのイベントを楽しんでもらうことに加え、実用英語技能検定の準会場として指定を受け、さらには実用英語協会パートナー校の認定を受けましたので、地域に根付いた活動をし、地域の子どものための利便性を向上させるために尽力しています。

事業取組

物価の上昇など、経済格差のしわ寄せは子供にのしかかっているため、教育などで子供たちをサポートしながら親の負担も軽減していくための活動を行いました。具体的には子ども居場所づくりプロジェクトとして、学習教室、工作教室、初心者水泳教室を実施しました。学習教室では個別指導を行い、英語、算数、数学を中心に学習ニーズに応えました。気軽に相談できる場所としての居場所づくりも併せて行いました。水泳教室は、海なし県さいたま市における水泳授業は年々減り続け、泳げない子が増える中、閉鎖される市民プールがあるなど、泳げるようになる機会が失われているため、地域の課題として水泳教室は必要不可欠な活動だと実感しました。初心者者を優先に募集をかけたが、多くの問い合わせがありました。近隣だけではなく、埼玉県内の多くの場所からたくさんの親子が参加してくれました。

事業成果

学習支援教室においては、大変好評をいただき、予定回数では対応しきれず、居場所づくりと併せてほぼ毎日開室しました。自習室難民となっている中高生の話を聞き、自習室として部屋を解放することになり、現在も継続中です。自習しにくる子だけではなく、悩み相談など居場所としての役割も果たしています。水泳教室の開催については、地域のサークルと連携したことにより、一日で泳げるようになった子や水が怖くなくなった子など、感謝の声をたくさんいただきました。今後は地域活動として継続していくのはもちろんですが、相談者(大人、子供)の貴重な声を行政に届けていき、本当に助けを必要としているところに支援がいくようなシステムを作れるようにしたいです。

総事業費

730,040 円

助成額

500,000 円

SDGs推進事業・地球分野 応援:金紋世界鷹 みどりと川の再生支援寄附

事業名 ▶ 「ホタル保護活動を通して陸の豊かさを作る」
親子里山体験と環境保全整備

法人名 ▶ 特定非営利活動法人熊谷市ほたるを保護する会(認定・指定)



活動内容

15年前から熊谷市江南地区に自生するゲンジボタルの保護活動として、①環境を守るための里山保全整備、②次世代の担い手を育成するための親子里山体験、③広く一般に向けての啓発活動に取り組んでいます。

事業取組

里山保全整備を従来の水曜に加え日曜にも実施し、新しい草刈機の導入で作業効率アップを図りました。親子里山体験では、子ども達に里山の昆虫の話などを通して里山整備を行うことが自然を守ることにつながることを伝えました。また、ほたる啓発活動では広く活動を紹介し、広報誌「ほたる通信」のNo14・15号を発行しました。「ほたる通信」を熊谷市内の小中学校児童生徒に配布し広く活動をアピールすることができました。

事業成果

今後もこれらの事業を継続し、新たな参加者を増やし、ゲンジボタル保護活動を通じて自然を守る活動を続けていきます。啓発活動も積極的に行い、新しいツールも使って会の活動を広くアピールしていきます。

総事業費

468,274 円

助成額

421,000 円

SDGs推進事業・地球分野 応援:株式会社富士薬品

事業名 ▶ 「こわれたおもちゃ、いっしょになおそう。 めざせ！未来のエジソン」

法人名 ▶ 特定非営利活動法人くまがやおもちゃ病院



活動内容

2018年6月にくまがやおもちゃ病院として活動を開始しました。2024年1月に特定非営利活動法人となりました。おもちゃの修理や工作教室、実験教室等を通じ、ものを大切にする心や科学に対する関心の醸成を目的としています。

事業取組

参加者(親子)が専門的な工具を用いて、壊れているおもちゃを分解し、故障箇所を見つけ修理するという作業を通して、親子で考え、成果を得る体験と学習を目的としたおもちゃ修理教室を、8月2日(土)に、熊谷駅近くのハートピア会議室で開催しました。定員を親子16組と設定し、当日は15組(1組は体調不良により欠席)に参加いただきました。当日は、10名の法人スタッフが、おもちゃ修理の指導や会場の設営などを行いました。

事業成果

イベント実施のノウハウを学ぶことができ、参加者アンケートからも高い評価が得られたので、それを活かして、継続的に子どもたちへのSTEM教育(科学、技術、工学、数学)に関する教室等を開催することを検討していきます。

総事業費

312,735 円

助成額

297,000 円

SDGs推進事業・豊かさ分野 応援:JSA中核会埼玉ブロック

事業名 ▶ 能登半島地震・豪雨災害復興支援プロジェクト

法人名 ▶ 特定非営利活動法人チーム東松山



活動内容

NPO法人チーム東松山はまちづくり・コミュニティカフェ・東日本大震災復興支援の3事業を行い、2019年度から災害支援・社会福祉の2事業を追加しました。2024年度から能登半島地震・豪雨災害の支援活動を実施しました。

事業取組

2024年元日の能登半島地震、9月の能登豪雨を踏まえて能登半島地震・豪雨災害復興支援プロジェクトを行いました。奥能登での活動を踏まえて県内各地で行った事業は以下のとおりです。

- ① 能登応援チャリティイベント開催
- ② 映画「風が灯るとき」自主上映会、松田咲香さん写真展の開催
- ③ 災害ボランティア養成講座(2回)
- ④ 東日本大震災の復興から学ぶ講演会開催(10月)
- ⑤ 水害から生命を守る地域防災活動の開催

事業成果

活動を通じて復興をめざす能登応援の雰囲気醸成することができました。また、次の災害に向けた対応についても考えを深めることができました。今後も能登の被災地支援を行い、災害支援の機運を盛り上げていきたいです。

総事業費

794,622 円

助成額

500,000 円

SDGs推進事業・人間分野 応援:明治安田「地元の応援募金」

事業名 ▶ 車いすバスケットボール体験事業

法人名 ▶ 特定非営利活動法人彩の国キッズ&ファミリー車いすスポーツ協会



活動内容

老若男女・障がいの有無に関係なく参加できるパラスポーツ体験、車いす体験会等を運営・企画し、誰もが楽しく参加できる環境を創出しています。また、学校からの依頼により、車いす体験会や講演会も行っています。

事業取組

月1回ペースで、障がい者スポーツ体験、車いす体験イベント等を運営・企画し、誰もが楽しく参加できる活動を行ってきました。上記の活動の他に、学校などで障がい者スポーツ体験会や障がいのあるメンバーの講演会などを実施し、当事者のリアルな声を発信し続けてきました。また、こうした活動を多くの人に知ってもらい参加してもらうために、ポスターやチラシなどを配布するなど広報活動にも注力してきました。

事業成果

月1回開催した体験会には、総勢70人が参加しました。地域のご家族や子どもだけでなく、片道1時間以上かけて参加してくれる当事者や福祉を学ぶ学生さんなども参加しました。学校でのイベントも年5回開催しました。

総事業費

519,186 円

助成額

500,000 円

SDGs推進事業・豊かさ分野 応援：埼玉県浦和競馬組合 社会貢献活動

事業名 ▶ 対等・水平な関係での対話を通じてつながる声・ひろがる未来

法人名 ▶ 特定非営利活動法人リバリュート



活動内容

「聴くこと」と「話すこと」を大切にする、以下の4つの取り組みを行いました。
・オンライン交流会「つながる声」：自身の病気や障害などの経験を話し、それを静かに聴いてもらう場をオンラインで4回開催しました。
・対面での対話イベント「ひろがる未来」：つながる声での登壇者が一堂に会し、川越市の公民館に集まり、直接顔を合わせることで、お互いの存在を身近に感じる場を作りました。
・経験を伝える動画の制作：不登校などを経験した方のエピソードを動画にし、YouTube等で公開。同じ悩みを持つ方へ届けました。
・「聴き方・話し方」の勉強会と研修：相手を尊重するオープンダイアログという対話を学ぶ会を計10回開催。地元の埼玉県内だけでなく、遠方からも多くの方が参加されました。



事業取組

地域に根ざした、無理のない継続的な運営を目指しました。
【地域の公共施設の活用】
川越市やふじみ野市の公民館を積極的に利用し、誰もが立ち寄りやすい場所で実施しました。
【スタッフの得意を活かした手作り運営】
動画の編集や講師などを、外部に頼むのではなく法人のスタッフが自ら行いました。これにより、活動にかかる費用を抑えながら、温かみのある運営を実現しました。
【自分たちの力で運営する仕組み作り】
一部の研修で参加費をいただくことで、助成金だけに頼り切らない、自立した活動の土台を作りました。

事業成果

活動を通じて、地域の中に以下のような前向きな変化が生まれています。
・人間関係がよりスムーズに 対話のコツを学んだ人が増えたことで、福祉や支援の現場において、支える側と支えられる側がより信頼し合える関係に変わってきています。
・「ひとりじゃない」という勇気 動画や交流会を通じて、今まさに悩んでいる方々が「自分にも価値がある」と感じ、前向きに社会とつながるきっかけを得ることができました。

総事業費 516,675 円

助成額 448,000 円

SDGs推進事業・パートナーシップ分野

事業名 ▶ 難民申請者等、マイノリティの方のくらしの支援と理解促進事業

法人名 ▶ 特定非営利活動法人ウィズ・ザ・スモール



活動内容

難民申請中の方や親を頼れない若者の暮らしを支える活動をしています。
シェアハウスでの住まいの支援やレンタルキッチンをお借りして多文化カフェの運営、日本語教室や上映会の開催などを行っています。

事業取組

・日本語教室を継続して実施しました。
・外国ルーツの方の防災対応力向上のために、ハザードマップなどの防災情報をやさしい日本語に変換する事業を進めています。
・難民申請中の方とともに多文化カフェを開催しました。
・スリランカ料理教室を立教大学のゼミ学生の皆さまと共催しました。
・難民の日本語教室を描いたドキュメンタリー映画の上映会を開催しました。



事業成果

多文化カフェや料理教室を通じて、地域の皆さまと外国ルーツの方々が見えあえる機会をつくることができました。今回行わせていただいた事業を今後も継続し、寛容な地域社会づくりに貢献していきたいと考えています。

総事業費 566,428 円

助成額 500,000 円

SDGs推進事業・人間分野

事業名 ▶ 子どもの学びを「LINEと動画」で伝える地域広報プロジェクト

法人名 ▶ 特定非営利活動法人マナビダネ



活動内容

NPO法人マナビダネは、学校に行きづらい子どもたちのために、地域で学びの場づくりを行う団体です。地元資源を生かした体験や人との関わりを通して、子どもが自分らしく育つ環境づくりに取り組んでいます。

事業取組

本事業では、学校に行きづらい子どもや保護者、地域の支援者に向けて、学びの場や子どもの様子を「LINE公式アカウント」や動画を通じて発信しました。活動の様子や子どもの変化、支援の考え方を分かりやすく伝えることで、地域の理解を深めることを目的としています。また、相談や見学につながる導線を整え、必要な家庭が地域の支援につながりやすい環境づくりにも取り組みました。

事業成果

LINEや動画での発信を通して、活動を知る保護者や地域の方が増え、見学や相談につながる機会が広がりました。
今後も情報発信を続け、不登校への理解を深め、地域で子どもを支えるつながりを広げていきます。

総事業費 513,406 円

助成額 462,000 円

自立促進事業・豊かさ分野 応援：株式会社ソニックフロー

事業名 ▶ 障害者の描いた絵画作品を使った持続的な自立支援活動

法人名 ▶ 特定非営利活動法人あいアイ(認定)



活動内容

私たちは「年齢・性別・国籍、そして障害の有無を問わず創造活動し、その成果を障害者の自立の一助とする」を目的に活動しています。
現在、川越市に障害者アートの「あいアイ美術館」、東京都北区に就労継続支援B型事業所「あいアイ工房」を開設しています。

事業取組

作品がどんなに個性豊かであっても、絵画だけで生活していくのは容易ではありません。そこで、継続的に収入を得られる事業の展開が不可欠と考え、次の取り組みを進めました。
① 障害者アートをオフィスなどに飾り、SDGsへの意識向上を図ること。
② 来客用のペットボトルに障害者アートをデザインし企業の社会貢献姿勢を自然な形で伝えること。
③ これらの事業をWEB広告で積極的に発信することで、認知を広げ受注の機会を増やして行くことです。

事業成果

作品レンタルの受注も獲得でき、大手企業からの問い合わせも増えるなど活動の幅が広がりました。
一方、HP上で「障害者アート」との表現を避けていたため「企業から検索されにくい」との課題も判明しました。
今後は今回分かった点を改善することで更なる認知拡大を図って行きたいと考えております。



総事業費 675,070 円

助成額 500,000 円

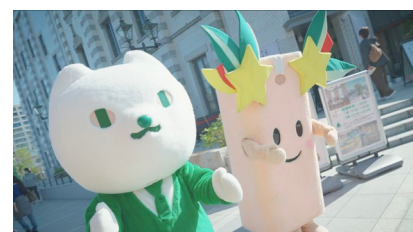
事業名 ▶ 関係人口創出に向けた企業連携地域課題解決 -小川町ジャック in 川越-

法人名 ▶ 特定非営利活動法人霜里学校



活動内容

下里分校廃校後、分校管理および地域の課題解決団体として平成24年に設立しました。下里地区をフィールドとして有機農業普及事業を開始し、平成26年より小川町移住サポートセンター事業を、令和2年より小川町観光案内所事業を行っています。



事業取組

インバウンド客をはじめとした観光客が多い川越にて、小川町の魅力を届けるイベントを実施しました。
埼玉りそな銀行が運営する「コエドテラス」の敷地内を使用し、小川町/小川町観光協会/小川高校/小川町内飲食店/埼玉りそな銀行小川支店等が出店し、それぞれから小川町の魅力を感じることができる販売会/体験会を実施しました。
高校生から大人まで、それぞれの目線で小川町の魅力を届け、川越の観光客に、「小川町」という新しい選択肢を提案することができました。

事業成果

小川町観光案内所を運営している弊団体を通し、今後も小川町の魅力を町内外に発信するとともに、企業や団体との連携を深め、定期的に通っていただける関係人口の創出に繋がる活動を深めてまいります。

総事業費

524,500 円

助成額

496,000 円

採択事業の詳細情報・その他 県の取組について

埼玉県NPO情報ステーション「NPOコバトンびん」

埼玉県NPO基金を活用した事業やNPO法人の検索などNPO活動に役立つ情報を掲載しています。



NPOコバトンびん

埼玉県共助の総合ポータルサイト「埼玉共助スタイル」

地域活動に関する情報や共助の取組事例など「共助社会づくり」に関する情報を掲載しています。



埼玉共助スタイル

Facebookページ「Saitama共助Style」

県内NPO活動や共助の取組事例などの情報を発信しています。



Facebookページ

「ウエルシア薬局」でのNPO関連広報物の配架



ウエルシア薬局と埼玉県は「共助社会づくりのための協力に関する協定」を締結しており、県内店舗への埼玉県NPO基金募金箱の設置や店内のフリースペース「ウエルカフェ」の活用などに御協力いただいています。

コバトンリサイクル募金

コバトンリサイクル募金とは？

県では協力事業者である嵯峨野株式会社(リサイクル募金きしゃぽん)と協定を締結し、不要品で寄附ができる「コバトンリサイクル募金」を実施しています。

寄附された不要品は同社が査定・換金し、寄附者本人に代わって、埼玉県特定非営利活動促進基金(埼玉県NPO基金)に寄附されます。

お申込み1件につき、嵯峨野株式会社からも100円が寄附されます。



コバトンリサイクル募金



リサイクル募金きしゃぽん



リサイクル募金の流れ

①申込み



宅配業者が集荷に伺います。

※5点から送料無料！

②査定・換金

リサイクル募金
きしゃぽん

きしゃぽんからも
1件につき100円が
寄附されます。

③寄附

夢をつなぐ寄附プロジェクト
埼玉県NPO基金
埼玉県特定非営利活動促進基金

お名前を添えて
寄附します。

取扱品目



本・DVD・CD・ゲーム

※本は原則ISBNコードあり、出版から10年位までのもの



切手・ハガキ・金券類



貴金属・ジュエリー

※金・銀・プラチナ・宝石を含むもの



ブランド品・時計・万年筆

※古くても、壊れていてもOK!



カメラ・レンズ



蒸留酒



トレカ・フィギュア・模型



グランドピアノ・アップライトピアノ

※宅配便での集荷ではございません
フリーダイヤルへご連絡ください

骨董／絵画／掛け軸／和装小物／ゴルフ／バイオリン／ギター／スマホ／タブレット／工具／喫煙具（Zippo）他、ご相談ください

⚠ 取り扱いできません
※送らないようご協力ください

タバコ、カビ臭／付属品の欠品／著しい汚れ、破損
ISBNコードがない本・週刊誌・大型家電・パソコン・プリンター・衣類・着物・家具

お申込方法

①電話で申込み

☎ 0120-29-7000

寄附先ID「112」とお伝えください。

②WEBで申込み

コバトンリサイクル募金



kishapon.com/saitamaken-npo/

詳細は
こちら



SAITAMA社会貢献プロジェクト

埼玉県では、県内の企業・団体の皆様の社会貢献活動を応援する「SAITAMA社会貢献プロジェクト」に取り組んでいます。

このプロジェクトでは、企業・団体の皆様の社会貢献活動を県ホームページで広く発信し、きらりと光る、地域を元気にする活動に取り組む企業・団体を表彰しています。また、地域活動に取り組むNPOと企業等をつなぐため、多様な主体が集う交流会やワークショップ等のイベントも開催しています。

プロジェクトの詳細、申込方法については県ホームページをご覧ください。

SAITAMA社会貢献賞表彰式



【令和7年度受賞者】(敬称略)
 ・大塚製薬株式会社 北関東支店
 ・COEDO KAWAGOE F.C株式会社
 ・株式会社デリモ
 ・リズム株式会社
 ・和光紙器株式会社



SAITAMA
社会貢献プロジェクト



多様な主体が一堂に会する交流会・ワークショップ



社会貢献活動・地域活動に取り組む多様な主体が一堂に会する交流会やワークショップを開催しています。参加されたい方は、下記までお問い合わせください。

埼玉県県民生活部共助社会づくり課 活動支援担当(TEL 048-830-2819)

埼玉県NPO基金への寄附の御案内

NPO基金を支える2つの寄附の種類

■一般寄附 活用分野を指定せず、広くNPO活動の支援に活用させていただきます。

■分野希望寄附 寄附の際に支援したい分野を指定することができます。

活動分野	活動内容の一例
こどもまんなか	社会教育、子どもの健全育成、職能開発・雇用拡大等
ゆたかな自然	環境保全、気候変動、生物多様性等
暮らしの安心安全	災害救援、地域安全、保健・医療・福祉等
魅力あふれる地域づくり	地域振興、観光、学術・文化・芸術・スポーツ振興等
つながり・支え合い	中間支援、男女共同参画、人権、国際協力の活動等

NPO基金への寄附の方法

以下の方法により寄附いただきます。詳細は「NPOコバトンびん」をご覧ください。

1. 埼玉県電子申請・届出サービスによりPay-easy(ペイジー)・クレジットカード決済
2. 「ふるさとチョイス」からクレジットカード・電子マネーで決済
3. 専用の振込用紙(寄附申込書)で金融機関からお振込み
4. 企業版ふるさと納税
5. 読み終えた書籍やDVD・はがき等の不要品で寄附「コバトンリサイクル募金」

NPO基金への
寄附の方法



寄附に応じた特典

1. 感謝状・協力証の贈呈
NPO基金への寄附の累計が、個人で10万円、団体で50万円以上の方に知事から感謝状を贈呈します。個人・団体問わず、1回の寄附額が1万円以上の方に協力証を贈呈します。
2. 助成事業に寄附者名を明示
年度内に50万円以上の寄附をいただいた方は、寄附を活用して実施する県の助成事業に、応援者としてご自身のお名前や企業のプロジェクト名などを設定することができます。
3. バナー広告の掲載
NPO基金への寄附の累計が50万円以上の団体様は、ホームページ「NPOコバトンびん」にバナー広告を掲載することができます。(要申込)

税法上の優遇措置

当基金に寄附した場合、地方公共団体への寄附として税法上の優遇措置があります。

税法上の優遇措置に関するお問い合わせ先
 埼玉県総務部税務課(TEL 048-830-2651)

